



各位

株式会社リクルート、株式会社リクルートコスモスとの最終合意書の締結について

本日、ユニゾン・キャピタル・パートナーズ II, L.P.、ユニゾン・キャピタル・パートナーズ II(F), L.P. 及び UC・アストロ・インベスター, L.P. (Unison Capital Partners II, L.P.、Unison Capital Partners II(F), L.P.、UC Astro Investor, L.P.、以下「ユニゾン」) は、株式会社リクルート (以下「リクルート」) 並びに株式会社リクルートコスモス (以下「リクルートコスモス」、JASDAQ コード番号 8844) とリクルートコスモスとの資本提携 (経営権移行) に関する最終合意書 (以下「本契約」) を締結しました。

本契約に基づき、資本提携 (経営権移行) の前提として (1) リクルートによるリクルートコスモスへの 139 億円の出資、及び (2) リクルート、株式会社リクルートエイブリック、及び株式会社リクルートメディアコミュニケーションズの 3 社が保有するリクルートコスモス普通株式 (上記出資分を含む) のリクルートコスモスへの無償譲渡が行われる予定です。これらを踏まえてユニゾンは 2005 年 6 月末を目処に行われる第三者割当増資により 90 億円を出資し、リクルートコスモス発行済普通株式の約 61.7% (完全希薄化後で約 54.4%) を保有する筆頭株主となる予定です。本契約に基づく一連の取引完了後もリクルートコスモス普通株式の JASDAQ 市場への上場は維持される見込みです。

ユニゾンは、「徹底したデータ検証に基づくデベロッパー事業」というビジネスモデルを業界の先駆者として作り上げてきたリクルートコスモス経営陣の経営手法を高く評価し、本件をリクルートコスモス経営陣との協働によるマネジメント・バイアウト (MBO) と位置づけています。ユニゾンは経営陣・従業員とのパートナーシップに基づき、リクルートコスモスの「自主独立経営」による企業価値最大化を目指します。具体的にはリクルートコスモスがこれまで培ってきた卓越した顧客主義の DNA をベースに、マンション分譲、戸建分譲、賃貸、仲介、管理、リフォームの各事業を、リクルートコスモスグループが一体となって提供する体制を更に強化していきます。

新生リクルートコスモスの取締役会は 7 名の現任者に加え、ユニゾンが派遣する 2 名 (非常勤) によって構成される予定です。代表取締役には重田里志氏、町田公志氏、常泉泰造氏が就任予定であり、現経営陣の継続的なリーダーシップのもとでリクルートコスモスの事業基盤を発展的に継承していきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4番5号紀尾井町ケルトンビル7-8階

ユニゾン・キャピタル株式会社 五木田

電話：03-3511-3900 FAX：03-3511-3982

ユニゾン・キャピタルについて

プライベート・エクイティ・ファンド「ユニゾン・キャピタル・パートナーズII, L.P.」「ユニゾン・キャピタル・パートナーズII(F), L.P.」（ケイマン籍）は日本の中堅企業を対象とするバイアウト投資を目的として、国内外の有力機関投資家からの出資により2004年12月に総コミットメント金額750億円で設定されました。この2本のファンドに先立ち2000年7月に総コミットメント金額380億円で設定された「ユニゾン・キャピタル・パートナーズ, L.P.」（ケイマン籍）は大企業の非中核事業部門や経営面でのてこ入れを必要とする中堅企業等への投資活動を行い、これまでに、7件の投資実績と3件の投資回収実績を持ちます。また、「UC・アストロ・インベスター, L.P.」（ケイマン籍）はリクルートコスモス株式への投資を目的に設定されました。

これらのファンドの日本におけるアドバイザーをつとめるユニゾン・キャピタル株式会社(代表取締役：江原伸好)は、プライベート・エクイティ投資アドバイザーとして1998年に設立されました。完全な独立系企業として少数の日本人プロフェッショナルによる運営体制を特色としております。